



6年生へ中学校入学前のアドバイス伝達会を開催しました

前号(第7号10月1日発行)でお知らせさせていただきましたが、7月に実施した小中一貫教育アンケートの中で、中学1年生から小学6年生に「中学校生活や勉強を進める上で、小学校の時にどのようなことができるようになっていたらよいか」という記述式の質問をしました。回答を分類すると複数意見が寄せられたものは「勉強全般」「国語の勉強」「算数の勉強」「英語の勉強」「挨拶」「敬語」「礼儀」「テスト」「部活」でした。これらを進学が間近となった小学6年生に、中学1年生の生の声として伝えることは中学生になる心構えを持ってもらったり、入学に際しての不安解消につながるのではないかと考えました。

そこで小中カリキュラムWGの特別活動グループが企画し、小学校6年生の児童に中学校の生徒会本部役員が小学校に出向いて伝達する会を次の日程で開催しました。

①9月30日(金) 二宮小学校で二宮中学校生徒会本部役員が説明

②10月3日(月) 一色小学校と山西小学校で二宮西中学校生徒会本部役員が説明

伝達会の様子をお知らせします

9月30日に二宮小学校で二宮中学校の生徒会本部役員から中学1年生のアンケートから、伝えるべき内容を絞り込み、小学校との違い、つまずきやすいポイントと対策などについて各教室で説明がありました。それを受けた6年生の児童は興味・関心が高く「部活動はいつからできる」「部活動の種類」「一日の授業数」「本部役員をやって良かったこと」「文化祭の内容」「給食の量」など質問攻めでした。

会の最後に生徒会本部役員からのメッセージとして「中学生生活は楽しいよ。来年みんなが入学してくるの待ってるよ」という温かい言葉がありました。

また、10月3日には一色小学校と山西小学校で二宮西中学校の生徒会本部役員から二宮中学校のときと同じように伝えるべき内容を絞り込み、本部役員の生徒がペアになって気軽に接しやすい雰囲気で

一色小学校は教室で、山西小学校は多目的室で気軽に説明がありました。6年生の児童は二宮小学校と同様に興味・関心が高く「部活動の種類」「部活動の帰宅時間」「休み時間」「登下校の時間」「体育祭の内容」「荷物の重さ」などたくさんの質問がでました。会の最後に生徒会本部役員からのメッセージとして「3学期の部活動見学の時にも会えるのを楽しみにしています」という歓迎の言葉がありました。

伝達会から感じることは子ども目線で伝えることの良さと生徒会本部役員から生徒自身の実感のこもった言葉で伝える素晴らしさを感じました。まさに小中一貫教育で児童生徒が交流する場でした。

